

編 集 後 記

気象庁の桜開花予想によれば、今年の北海道の桜は平年より早めの開花となりそうです。全国的に記録的な暖冬でしたが、北海道においても気温が高めの状態が続く見込みとなっています。

古来より桜は日本人の生活と文化に深く関わってきました。桜を田や畑の近くに植え、桜が開花すると田の神様が舞い降りると信じ農作業開始の合図にしたり、桜の満開は豊かな収穫の予祝をあらわしていたそうです。山水画や障壁画にも描かれ、和歌の世界にも多くの名歌が残されています。また、満開になった桜の下での花見は各地の風物詩にもなっています。桜開花の予想通り、北海道の桜も早めに開花するといいですね。

さて、北海道医療大学看護福祉学部学会誌第12巻1号を会員皆さまのお手元にお届けします。今回は、原著論文3本、研究報告4本、総説2本、資料5本の計14本の原稿を掲載することができました。多くの原稿を投稿していただきました会員の皆さま、そしてご多忙にもかかわらず快く査読を引受けていただきました先生方に衷心より感謝いたします。

編集委員会

鈴木幸雄，大友芳恵，鎌田禎子，内ヶ島伸也，近藤尚也

北海道医療大学看護福祉学部学会誌 第12巻 1号

2016年3月31日発行

発行者 平 典子

発行所 北海道医療大学看護福祉学部学会

編集担当 鈴木 幸雄，大友 芳恵，鎌田 禎子，内ヶ島伸也，近藤 尚也

印刷所 社会福祉法人 北海道リハビリ
